

# 沙羅の樹文庫だより

NO. 203 (23年10月号)



月に問へ  
生きて真澄の  
月に問へ

中秋の名月 23.9.29

はるかよりきし 花びらの かの世へと

秋風をふみ 秋風を聴く しばし

黒田杏子『八月』(上記の句含め)

★ ★ ★ ★ ★

みどりごの 寝息しづかな 良夜かな

亡き人と ゆきあひそさうな 風の盆

巡回し 大海原へ 帰燕かな

杉村史朗氏



本年も3密を避け予約制で開館しています

2023年

10月14日(土)、15日(日)

11月18日(土)、19日(日)

12月16日(土)、17日(日)

★12月17日午前はクリスマス会★

来24年の開館日も従来通り、

第3日曜日と前日の土曜日

1月20日(土)、21日(日)

2月17日(土)、18日(日)

3月16日(土)、17日(日)

4月20日(土)、21日(日)

.....

文庫・開館時間：土曜日 13:00~17:00

日曜日 10:00~15:00

子どものための読み聞かせ・おはなし会

文庫のある日曜日 10:30~11:00

おはなし沙羅・おはなし勉強会

文庫のある土曜日 10:30~12:30

沙羅の樹文庫

〒413-0235 伊東市大室高原 7-122

☎0557-51-3737 (090-6039-3782)

沙羅の樹分館ゆるかの里子ども文庫

〒413-0232 伊東市八幡野 924-1

☎0557-54-1910

開室日：水曜日 13:00~15:00

：日曜日 10:00~15:00



文庫あれこれ◆10月の満月も29日、ハンターズ・ムーンと呼ばれるようですが、9月の<中秋の名月>をご覧になったでしょうか。◆表紙の写真は、友人が長野の実家への途中、南アルプスの向こうから上ってきた黄色い月を、車を停めて活写した見事な1枚です。世田谷の我が家からも電線の上に見ることができましたが、立川や町田の友人は、雨に降られて見られなかったとか。◆載せさせていただいた俳句は、今年3月に亡くなった黒田杏子さんの句です。以前、「金子兜太さんの日常」のドキュメンタリー映画の音楽担当だった娘の連れ合いにくっついて記念会に行った時、颯爽と人の間を縫って話している黒田さんを見て、日経の選者がこの人か、と好意を持ちました。◆もう1人載せさせていただいた句作者は、7歳先輩の語りのお仲間(文庫でも語っていた)で、二宮在住の杉村さんです。お二人の句から、秋を、この秋をそっと、深く、感じさせていただきました。◆この3日で80歳になりました。文庫でも、また知人でも、私より先輩のお歳の方が何人も、お元気で活躍なさっておられるのを、羨望を込めて見知っておりますが、いやはや我、既にヨレヨレです。文庫を閉じる時期が来たと痛感しています。皆さん、来夏まで、どうぞ、これまで以上にたくさん本を借りて読んでくださいね。勝手な選書ですが、ギリギリまで新刊も入れますね。

(西村)

ちょい1泊旅：  
山間に1軒の古い宿。  
東京から車で2時間半。飯能から30分。  
鳥の巣箱が木々に。  
紅葉には少し早く。  
小川のせせらぎが  
隔世の耳に優しく。



.....  
道中、曼珠沙華が  
群生していました。

(写真はネットから)



# コロナ明け、イギリスに出かけた 下 —子どものお話会— 代田 みち子

Cambridge Central Library へ：

ケンブリッジの街の公共図書館がどんな「お話会」をしているか訪ねてみた。にぎやかな街の真中にあるケンブリッジ中央図書館。

大きなビルの2階から3階4階と続いていた。子どもコーナーは2階フロアの奥。一週間に2回行われるお話会。日曜日3時からと月曜日の10時半から30分間。日曜日、10組くらいの親子連れを前にお話会が始まった。

大柄な男性の図書館員が絵本を数冊抱えて、中央の大きな椅子にゆったり座る。始めるヨの合図とともに何を読もうか？という感じで



子どもの顔を確認。その時参加者の親がカメラをパチリ！「あ、写真は撮らないで、あとで消しておいて」との発言が最初にあったので、残念だが私も写真は撮れなかった。聞き手は様々な人種の子どもと親。5歳位から小学校低学年位の子どもが主だったように思う。

絵本で興味深かったのは、何をしても満足させるのが難しい10代のフィリップ君の話。口癖が「Whatever（どうでもいい）」次々に起こる出来事に皆「Whatever」という。最終的にモンスターに食べられちゃっても「Whatever」。何とも肩の力が抜けた愉快なお話を読まれた。

他には「森で生まれたモンスターとベッドの下のモンスターの話」、もし〜ならと二つの可能性のどちらかを参加者と選んでいく物語。

他に「動物はどんな声で鳴く？皆でまねしてみよう！」など数冊気楽な雰囲気を読まれた。皆ペーパーブック。ハードカバーはなかった。

乳幼児向けの「Rhymetimes」という日にも出かけてみた。こちらは動きまわる元気な子どもたちもいる中、女性のベテラン図書館員と思える方が進行役。10組以上の親子連れが参加。

♪キラキラ星の歌ではじまった。両手の指を小さく動かして星の輝きを表すと、参加者もまねる。皆さん心得ていてうまくできる。♪頭、肩、膝、足〜こちらもよく知られている歌なので、参加者も歌いながら楽しんでいる。動作もできる子あり、できない子ありで自由な空気。途中で輪の外へ出る子もいてこれも自由。続いて次々7曲唄われ、再度ゆる〜い♪キラキラ星で「またネ〜」で終了となる。

棚の絵本はハードカバーの定番あり、アニメ本やクイズ本あり、机には紙やクレヨン。全体に図書館は楽しく遊べ



る空間という印象。

日本の図書館書架はマジメに揃えられている。日本のお話会是个室やコーナーで、内容も構成もマジメだよなぁ……我々文庫でさえもと感じた。

夏休みだったからか、ケンブリッジの公共図書館「子どもお話会」は、いずれも自由でおおらかなものだった。

2023.7月  
★★2回に亘って<イギリスの旅>を寄せてくださった代田さんは、前・日本読書センター代表。東京・国立で、やまびこ文庫をやっておられます。



昨日がサークル月例会でした。その後、わらべ歌の講習会を開きました。特に幼児向きのおはなし会でプログラムに入れたい歌や遊びを教えていただきました。

今日は図書館のおはなし会でしたから、早速いくつか実践して、子どもたちと遊びました。おはなし会は対象年齢を3才からとうたっている、0才から5〜6才と、年齢差を受け入れて実施するのですが、わらべ歌は年齢差があっても喜んで歌ってくれます。わらべ歌、絵本、おはなし、パネルシアターと繋げて楽しい会になりました。

(城陽おはなしサークル・塚脇節子さんから)

23. 10 月に入る子どもの本

絵本

- 『どんぐり』(たてのひろし著 小峰書店 2023) ID13973  
 『みどりのがけのふるいいえ』(なかの真実作 世界文化社 2023) ID13974  
 『本はこうしてつくられる』(アリキ作・絵 松岡享子訳 日本エディタースクール出版部 1991) ID13977  
 『アーサー王のひひひひまご』(ケネス・クレグル作 津森優子訳 瑞雲舎 2019) ID13978

読みもの

- 『コグニのはじまり』(いとうひろし著 あすなろ書房 2023) ID13979  
 『あられしもの』(最上一平著 新日本出版社 2022) ID13980  
 『博物館の少女—騒がしい幽霊』(富安陽子著 偕成社 2023) ID13976  
 『アーヤと魔女』(ダイアナ・ウイン・ジョーンズ作 田中薫子訳 佐竹美保絵 徳間書店 2012) ID13975  
 『サムデイ』(デイヴィッド・レヴィサン著 三辺律子訳 小峰書店 2022) ID13981  
 ♥何冊か読みました。『博物館の少女』続編は、文句無く面白い。主人公の周りに出てくる歴史上の人物との絡みは、歴史への興味を生むし、読んでいて心ウキウキ。ぜひ中学年以上に読んでほしい。絵本『アーサー王のひひひひまご』は、沼津の友人からのおすすめ。平和と共存を♥『コグニのはじまり』は、2度読んで初めてうっすらと……。大人の人もぜひ♥『あられしもの』：これは子どもの本だろうか。子どもにこの話のニュアンスが理解できるのか。でも読んでほっこり嬉し悲しの気分に♥ぜひ大人が読んでほしい♥

23. 10 月に入る大人の本

フィクション

- 『禍』(小田雅久仁著 新潮社 2023) ID19113  
 『レーエンデ国物語』(多崎礼著 講談社 2023) ID19114

- 『ひとつこひとり』(東直子著 双葉社 2023) ID19115  
 『R・E・S・P・E・C・T リスペクト』(ブレディみかこ著 筑摩書房 2023) ID19116  
 『あなたが誰かを殺した』(東野圭吾著 講談社 2023) ID19117  
 『かたばみ』(木内昇著 角川書店 2023) ID19118  
 『真の人間になる 上』『真の人間になる 下』(甘耀明著 白水紀子訳 白水社 2023) ID19111 ID19112  
 『カードミステリー 失われた魔法の島』(ヨースタイン・ゴルデル著 山内清子訳 徳間書店) ID19120  
 『赤い十字』(サーシャ・フィリペンコ著 奈倉有里訳 集英社 2023) ID19121

エッセイほか

- 『太陽の子—日本がアフリカに置き去りにした秘密』(三浦英之著 集英社 2023) ID19104  
 『三島由紀夫論』(平野啓一郎著 新潮社 2023) ID19105  
 『吉右衛門—「現代」を生きた歌舞伎役者』(渡辺保著 慶應義塾大学出版会 2023) ID19106  
 『本棚には裏がある』(酒井順子著 毎日新聞出版 2023) ID19107  
 『講談放浪記』(神田伯山著 講談社 2023) ID19108  
 『ロバのスーコと旅をする』(高田晃太郎著 河出書房新社) ID19109  
 『思い出すこと』(ジュンパ・ラヒリ著 中嶋浩郎訳 新潮社 2023) ID19122  
 『料理と人生』(マリーズ・コンデ著 大辻都訳 左右社 2023) ID19110

文庫

- 『青い壺』(有吉佐和子著 文春文庫 2011) ID19100  
 『インビジブル』(坂上泉著 文春文庫 2023) ID19101  
 『二代目—聞き書き中村吉右衛門』(小玉祥子著 朝日文庫 2016) ID19102

新書

- 『ウクライナ動乱—ソ連解体から露ウ戦争まで』(松里公孝著 ちくま新書 2023) ID19103

徒然なるままに・・・ (さ・ら)

★待ち遠しかった秋到来。そして急な寒さに面食らっています。★ちょい旅は復活せずと言う連れ合いも、我が傘寿の祝いに一泊旅を。★埼玉に?とっていたら、意外や意外、なかなか心癒える1軒宿で、80代を始めることができました。★寿命まで無事生きぬけるよう、心しました。★秋になると、(そして未だ根強く蔓延っているコロナではありますが)、子ども関係の集会が目白押しです、対面の!! ★古巣の親子読書地域文庫全国連絡会・全国集会が7日(土)、オリンピックセンターで。記念講演は生命誌研究者の中村桂子さん。〈生きものの私、自然の中の私〉という考えが、87歳の力強い声で、スーッと体に沁みしました。分科会は読書バリアフリーの立場から。長年学校司書を務めた田沼美恵子さんの知的支援学校での実践経験とその考えはまさに今月から始まる伊豆高原 Base での試みに道筋をつけてくれました。彼女は、学校に、支援学校に、専門司書を、を訴えながら。★12日は1年ぶりの芦花小1年5クラスへのおはなし会。近くに大型マンションが出来て、児童数増加の一途。1年で初めてのおはなし会にもかかわらず、この学校の子どもたちは、よく聴いてくれる。怖い話には、目や耳を押さえて! 面白い話には、大声で笑って♥。話してもたくさん幸せをもらえますね。★文庫を閉じたら、何して暮らそう、も少し、子どもに、大人に、おはなしを語ることに力を、と思いましたが、生来の怠け者、一夜漬の私は、この先いい語りができそうにないと自覚。ああ、80からの人生、どうしましょう。(病を得たり、家族のお世話をしなければならぬ方たちを思うと何と身勝手な!!) ★災害、争い、世に蔓延る大元は、私たちの心がけ次第、だけではないですが、個の先にある全体を、個として守りたいですね。

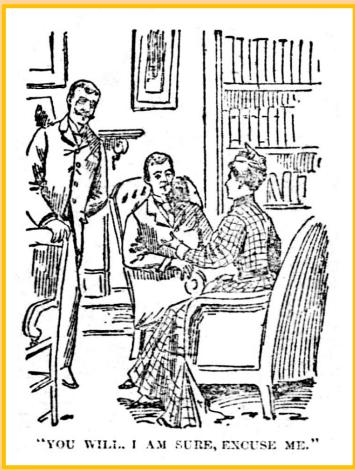


# シャーロック・ホームズを推理する (12) ~ホームズと女性~小林 由美

前回、シャーロック・ホームズの相棒ワトソンについて書きましたが、ホームズは女性に対してどう思っていたのかという質問をいただきました。これはホームズ愛好家の間でも好んで論じられる問題で、この話題を持ち出せば一晩中でも語り合えるほどです。

長編『四つの署名』の事件解決後に、ワトソンは事件の依頼人であったメアリー・モースタンと結婚します。その時にホームズは「僕はおめでとうとは言わないよ」と言い放ちます。ひどいやつです(笑)。でもその真意はワトソンへの嫉妬でもメアリーへの嫌悪でもなく、ホームズは次のように説明します。

「恋愛は感情的なものだからね。すべて感情的なものは、何ものにもまして僕の尊重する冷静な理知と相容れない。判断を狂わされると困るから、僕は一生結婚はしないよ。」探偵にとって何より大事な理性を狂わせるようなものは排除するというわけです。



それゆえホームズはワトソンに「女性は君の領域だ」などによく言うのですが、ここからホームズは女嫌いであるとか、女性(あるいは女好きの男性)を軽蔑していると受け取られることが多いようです。果たしてそれは真実でしょうか。

9月にNHKの「100分de名著」はシャーロック・ホームズを取り上げていました。その中でも紹介された『ボヘミアの醜聞』に登場するアイリーン・アドラーという女性を、ホームズはずっと「あの女性(The woman)」と呼んでいました。

密かな恋人であったアイリーンから脅されていたボヘミア国王が、証拠品の写真をアイリーンから取り戻してほしいとホームズに依頼したのですが、ホームズはアイリーンに出し抜かれ完敗します。敗北を認めたホームズは、敬意を込めて彼女を「あの女性」と呼ぶのでした。女嫌いであつたり女性を軽蔑したりする男で



あれば、女に負けることなど許しがたく、認めたくないことでしょう。しかしホームズはそういう態度はとりません。女性であろうと男性であろうと、あるいは犯罪者であろうと、理性的である人間に対してはある種の敬意を払うのがホームズです。

つまり正しく言うと、ホームズは女は避けるけれど女嫌いではなく、「恋愛嫌い」なのです。恋愛だけでなく、情緒的なものが大嫌いで、ワトソンに対しても事件記録が情緒に流れすぎていると常にくさします。

女性を避け、ワトソンを相棒とするホームズがホモセクシュアルではないかという説もよく聞かれるのですが、相手が女性であれ男性であれ、「恋愛」に決してのめり込まないというのがホームズの生き方です。寂しくないのって? だからホームズは事件が終わって退屈するとコカイン注射を打つのですよ。

(当時のイギリスではコカインは合法麻薬)



左の2冊は子ども向けの表紙

春陽堂 & 偕成社版